

2018年度事業報告

(2019年3月31日現在)

2018年度の 事業成果	<ol style="list-style-type: none">1. 図書館サービスの向上<ul style="list-style-type: none">・新規採用者・転入者向け事務説明会における図書館利用説明（毎月2回）・図書館利用ガイダンス（学部14回、大学院25回、留学生合同2回　うち英語6回）の実施、情報探索ガイダンス（春季、秋季10回、うち英語2回）の実施・工学部の進学選択応援コーナーを駒場図書館に設置(平成30年4月27日～5月18日)・閲覧スペースの拡大と充実（工2号館図書室）・防災対策セーフティ・マネジメント・システム（SMS）の実施（工1B、工2、工5、工14）・教員による安全な踏み台の製作と設置（工3号館図書室）・書庫内害虫トラップ調査実施と書庫等ドアへの虫除けブラシの設置・レファレンス記録の標準化2. 蔵書の構築とファインダビリティの向上<ul style="list-style-type: none">・学生用図書の実績（学習用図書の選定約686冊　うちジュニアスタッフによる選定69冊）・シラバス掲載図書の電子ブック導入、リストをホームページに掲載・柏図書館への雑誌移管（7冊）、不用資料除却の促進（約926冊）・資料実査（工1号館図書室B11, 623冊）・未整理資料の登録、整理（うち工4号館図書室2,000冊は外注）・「都市工教員著書コーナー」の常設化（工14号館図書室）・UTokyo Biblio Plazaへの教員著作物の推薦3. 工学史料キュレーション事業の継続<ul style="list-style-type: none">・工学史料キュレーションデータベースを公開・学生・教職員対象を対象に、工学系・情報理工学系等事務部情報ポータルサイトを利用し、定期的に学術資産の所在情報について照会・展示「長距離送電線、発電所建設の記録　一大正十三年の写真帖から」（平成30年8月1日～10月31日/工2号館図書室）・展示「蔵前橋工事写真展」（平成30年10月17日～12月26日/工1号館図書室A）・展示「鉄と金：帝国大学採鉱及冶金学科の教育資料が伝えるもの」（平成30年11月8日～平成31年1月31日/工2号館図書室）・小展示「写真で見る明治から昭和初期の採鉱及冶金学科」（平成30年2月4日～2月7日/工2号館図書室）・展示「第一高等学校旧蔵資料教育用掛図　鉱山借区図　工部省鉱山課編」（平成31年2月28日～令和元年8月31日/工2号館図書室）・常設展示ヒューマノイドロボット「臍次」「臍臓」（工2号館図書室）・高山文庫の地図目録作成（工14号館図書室）・旧制大学卒業論文等のアーカイブ用コンディションチェック実施（工5号館図書室）・資料見学会を実施（工2, 3, 4号館図書室）4. 学術情報のオープン化の推進<ul style="list-style-type: none">・オープンアクセスウィークポスター作製・掲示（平成30年10月22日～28日）5. 他組織との協力連携<ul style="list-style-type: none">・広報室、国際工学教育推進機構等との連携推進・「工学教程」の整備（国際推進課）・男女共同参画図書コーナーGENKI BOOKSの設置（独立行政法人国立女性教育会館）・書架清掃の実施(施設部障害者雇用PT)・展示の実施(東京大学駒場博物館、東京大学駒場図書館、東京大学文書館)・「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業における古典籍資料撮影(国文学研究資料館)6. その他<ul style="list-style-type: none">・図書館総合展ポスターセッションへの出展（平成30年10月30日～11月1日）・Engineering Villageに関するエルゼビア社とのミーティング実施（平成30年10月12日）・総図別館LPトークセッションで工学・情報理工学図書館長と附属図書館副館長が対談（平成31年2月7日）・シカゴ大学図書館員との意見交換会の開催・各図書室共通書庫への書架増設
-----------------	--